

第 112 回 GIST セミナー

(第 4 回 GIST-DX セミナー)

「データ連結によるコネクションから データ連成によるイノベーションへ」

講演者:

大澤幸生

東京大学教授



- ◆ 日時： 2023 年 6 月 13 日 (火) 18 時 30 分～20 時 00 分(開場 18 時 00 分)
- ◆ 場所： 政策研究大学院大学(GRIPS) 5 階, 講義室M
東京都港区六本木 7-22-1 <https://www.grips.ac.jp/about/access/>
- ◆ 主催： GRIPS 科学技術イノベーション政策プログラム(GIST)
- ◆ 言語： 日本語

◆ 概要：

「連結」と「連成」は、両方とも接続や結びつけることを意味する言葉として工学で多用される言葉だが、Chat GPT によれば、微妙な違いがある。つまり、「連結」は、具体的な物や要素を結びつけることを指し、結んで得られる全体像の統一性は直接の関心ごとではない。例えば、「道路を連結する」は、複数の道路をつなげて一つの道路にすることを指し、その結果として都市が住みよくなるかどうかは別の話である。一方、「連成」は、物事が相互に関連して結びつき、一つの全体を形成している状態を指し、主に抽象的な概念や構造に対して使用される。例えば、「都市の連成性」は、都市の構成要素が相互に結びついて統一されている様子を指す。また、津波が建築物に当たるときの構造的影響は、固体と液体の衝突からなる現象の全体像を説明せんとする「連成シミュレーション」である。本講演は、データ連結ではなく、データ連成こそがイノベーションにつながることを理念とし、これを実現するための人のリテラシーを育てるための方法について、社会連携講座の成果から紹介する。

◆ 講演者略歴：

1995年に東京大学工学研究科で工学博士を取得後、大阪大学基礎工学研究科助手、筑波大学ビジネス科学研究科助教授、科学技術振興事業団(現・科学技術振興機構)研究員、東京大学情報理工学研究科特任助教授、同大学院工学系研究科システム量子工学専攻助教授、同システム創成学専攻の准教授を経て、2009年7月より同教授。知能情報学とデザイン学、認知科学の境界にあるチャンス発見学およびデータ市場設計学を自ら創始した。このテーマでは、『Chance Discovery』(Springer,2003)、『チャンス発見のデータ分析』(東京電機大学出版,2006)、『ビジネスチャンス発見の技術』(岩波アクティブ新書,2004)、『未来の売れ筋発掘学』(ダイヤモンド社,2010)、『イノベーションの発想技術: ゲームでひらくビジネスチャンス』(日経出版,2013)、『Innovators' Marketplace』(Springer,2017)、『データ市場』(近代科学社,2017)、『Living Beyond Data』(Springer,2022)、『Tools for Activating Data Marketplace』(Springer,2022)を含む編著書約30件のほか、論文、産学両界での招待講演多数。日本学術振興会、日本学術会議の委員会委員、工学アカデミー会員、人工知能学会理事などを歴任。学会の研究賞、功労賞など多数受賞。

詳細は <https://researchmap.jp/ohsawa/>

◆ プログラム：

18:30-18:35 講演者紹介 (佐野 仁美 政策研究大学院大学)

18:35-19:35 大澤氏によるご講演 (60 分間)

19:35-20:00 質疑応答 (25 分間)

◆ 進行： 佐野 仁美

◆ 備考：

本セミナーは対面で開催します。体調不良時には、新型コロナウイルス感染症を疑う症状かどうかにかかわらず来校をお控えください。また、コロナの状況によっては、キャンセルされることがあります。予めご了承ください。

◆ 申し込み：

参加ご希望の方、または今後の GIST からのご案内を希望される方は、2023 年 6 月 9 日（金）17 時までに下記登録フォームからお申し込みください（会場の収容人数の都合から、先着 70 名までとなります）。

<https://forms.gle/VX1iUwWz9N7jvF6C8>

登録フォームにアクセス出来ない場合は、下記内容を明記の上、gist-ml@grips.ac.jp宛にメールにてお知らせください。

1. お名前、2. ふりがな、3. ご所属、4. お役職、5. ご連絡先（E-mail）

※ 1、3、5 は必須です。